

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、黒瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和60年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 黒瀬川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消する。
大谷ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】流下能力不足解消のため、黒瀬川の整備を実施する。
 - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|---------------------------------------|------------|---------------------------------------------|----|-----|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 黒瀬川の整備(河床掘削、堤防整備、橋梁架替等) | 富山県 | 前沢橋等の架替によりボトルネック部を解消 下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消 | | |
| | 大谷ダムにおける事前放流の実施 | 富山県 | | | |
| | 森林整備・治山対策 | 富山県 | | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など) | 黒部市 | 立地適正化計画への防災指針の記載と取組など | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知 | 富山県 黒部市 | | | |
| | 水位計・監視カメラの活用 | 富山県 | 必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など | | |

【事業費(R5年度以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 18.8億円※
黒瀬川の整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進